

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. 1	調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 44.7000"				
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター			調査期間	平成 24年04月18日～ 平成 24年04月21日		東経	139° 00' 57.2000"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者					
孔口標高	5.020m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 YBM-05-DA2 エンジン NFAD-8	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	30.44m	度	0°	向						ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘進月日			
									孔内水位 (m) / 測定月日	10cm毎の打撃回数			N 値	試験名および結果	深度 (m)	試料番号	採取方法		室内試験 ( )		
										深 度 (m)	0	10								20	換算N値
4.82	0.20	0.20		シルト混じり細砂	暗茶・黄褐			細粒な砂分が優勢。未分解の植物根を多く含む。層上部の深度0.08mまでは、有機質なシルトを比較的多く含む。深度0.08m以深は、ローム様のシルトを比較的多く含む。	4/18	1.15	2	1	2	5							
4.42	0.40	0.60		礫混じり細砂	黄灰			細粒な砂分が優勢。径50mm以下程度の角礫を少量含む。	4/19	1.45											
3.22	1.20	1.80		細砂	黄灰	緩		細粒な砂分が優勢。中砂分を少量含む。含水少ない。	4/19	2.45	1	1	1	3							
1.47	1.75	3.55		中砂	黄灰	極緩・中		中砂分がやや優勢。微細～細粒な砂分を多く含む。深度2.00m付近より含水多くなる。	4/20	3.15	4	5	5	14							
0.67	0.80	4.35		中砂	黄灰	極緩・中		中砂分が優勢。粗砂分や径3mm前後の細礫を極少量含む。	4/20	3.45											
0.27	0.40	4.75		中砂	暗灰	緩		中砂が優勢。粗砂分や径3mm前後の細礫を極少量含む。含水多い。	4/20	4.15	3	2	1	6							
0.02	0.25	5.00		シルト質粘土	暗灰	軟		シルト質粘土が優勢。微細な腐植物片を極少量含む。粘性強い。深度4.60m以深で粘土質なシルトに変わる。	4/20	4.45											
-0.18	0.20	5.20		シルト質細砂	暗灰			かなり微細～微細な砂分がやや優勢。シルト分を多く含む。含水多い。	4/20	4.55											
-0.68	0.50	5.70		粘土質シルト	暗灰			粘土質なシルトが主体。粘性中位。	4/20	5.15	2	2	4	8							
-0.98	0.30	6.00		シルト質細砂	暗灰	緩		かなり微細な砂分がやや優勢。シルト分を多く含む。含水多い。	4/20	5.45											
-1.58	0.50	6.50		シルト質粘土	暗灰	軟		シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	4/20	6.15	1	1	1	2							
-1.73	0.15	6.75		腐植土	暗茶			シルト質粘土様の有機質土が優勢。やや分解の進んだ腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	4/20	6.45											
-4.18	2.45	9.20		シルト質粘土	暗灰	極軟・軟		シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	4/20	7.00	0	1	1	2							
-4.98	0.80	10.00		シルト質粘土	暗灰	極軟・軟		シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	4/20	7.50	0	1	1	2							
				シルト質細砂	暗灰	緩		かなり微細な砂分がやや優勢。シルト分を多く含む。含水多い。	4/20	8.15	1	1	1	3							
				砂質シルト	暗灰			シルト分がやや優勢。かなり微細～細粒な砂分を多く含む。粘性弱い。	4/20	8.45											
				シルト質細砂	暗灰			かなり微細な砂分が優勢。シルト分を比較的多く含む。含水多い。	4/20	9.15	2	4	6	12							
				シルト質粘土	暗灰	極軟		シルト質粘土が主体。繊維質な腐植物を少量含む。粘性強い。	4/20	9.45											
				腐植土	暗茶			シルト質粘土様の有機質土が優勢。やや分解の進んだ腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	4/20	10.15	8	11	13	32							
				シルト質粘土	暗灰	極軟・軟		シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	4/20	10.45											
				シルト混じり細砂	暗灰			微細～細粒な砂分が優勢。シルト分を少量含む。含水多い。層上部の深度9.20～9.50m間は、淡茶色を呈するやや有機質なシルト分を含む。	4/20	11.15	14	18	18	50							
				細砂	暗灰	密・極密		細粒な砂分が優勢。中砂を少量含む。含水多い。深度10.50～10.60m間に繊維質な腐植物を少量含む。深度19.50m付近より中砂の混入が多くなる。深度21.90m、深度22.55～22.65m間は、粗砂分を少量含む。深度23.70m以深は、全体に粗砂分も少量含む。深度23.68mに木片を混入する。深度23.80～23.90m間、深度24.55～24.80m間、	4/20	11.45	10	14	15	39							
									4/20	12.15	10	14	15	39							
									4/20	12.45											
									4/20	13.15	16	21	13	50							
									4/20	13.42											
									4/20	14.15	10	13	16	39							
									4/20	14.45											
									4/20	15.15	15	17	18	50							
									4/20	15.43											
									4/20	16.15	14	16	20	50							
									4/20	16.45											
									4/20	17.15	9	12	13	34							
									4/20	17.45											
									4/20	18.15	13	19	19	50							
									4/20	18.43											
									4/20	19.15	12	18	20	50							
									4/20	19.45											
									4/20	20.15	15	18	17	50							
									4/20	20.42											
									4/20	21.15	19	23	8	50							
									4/20	21.39											
									4/20	22.15	11	14	15	40							
									4/20	22.45											
									4/20	23.15	20	30		50							
									4/20	23.35											
									4/20	24.15	12	12	14	38							
									4/20	24.45											

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 44.7000"			
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター			調査期間	平成 24年04月18日～ 平成 24年04月21日		東経	139° 00' 57.2000"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者					
孔口標高	5.020m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 YBM-05-DA2 エンジン NFAD-8	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	30.44m	度	0°	向						ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日		
									孔内水位 (m) / 測定月日	深度 (m)	10cm毎の打撃回数			N 値	試験名および結果	深度 (m)	試料番号			採取方法	
											0	10	20								打撃回数 / 貫入量 (cm)
25								深度23.80~23.90m間、 深度24.55~24.80m間、 深度25.55~25.75m間は、数ミリ厚で腐植物を少量混入する。													
26								深度25.80~26.50m間、 深度26.75~28.50m間は、中砂~粗砂分を比較的多く含む。													
27	21.98	17.00	27.00					深度26.50~26.55m間にシルト質細砂を挟在する。													
28				シルト質細砂	暗灰			かなり微細~微細な砂分が優勢。シルト分を比較的多く含む。含水中位。													
29								深度27.60~27.65m間、 深度28.75~28.80m間は、細粒~中粒な砂分を比較的多く含む。 深度28.65~28.70m間は、やや分解の進んだ腐植物を少量含む。													
30	25.42	8.44	30.44																		
31																					
32																					
33																					
34																					
35																					
36																					
37																					
38																					
39																					
40																					
41																					
42																					
43																					
44																					
45																					
46																					
47																					
48																					

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 45.3000"					
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター			調査期間	平成 24年04月11日～ 平成 24年04月17日		東経	139° 00' 58.5000"				
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者						
孔口標高	5.045m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0°	使用機種	試錐機	YBM-05-DA2	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	30.50m	度	0°	向	90°	エンジン	NFAD-8	ポンプ	V5-P			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘進月日		
									孔内水位 (m) / 測定月日	10cm毎の打撃回数			N 値	試験名および結果	採取方法	室内試験 ( )				
										深 度 (m)	0	10					20		換算N値	
1.15	0.15	0.20	シルト混じり細砂	暗褐				細粒な砂分が優勢。未分解の植物根を多く含む。有機質なシルトを比較的多く含む。	1.15	1	1	1	3							
1.45	0.15	0.20	シルト質細砂	黄褐				微細な砂分が優勢。ローム様のシルトを比較的多く含む。	1.45											
2.15	0.70	0.80	細砂	黄灰	極緩			細粒な砂分が主体。中砂分を少量含む。稀に径5mm前後の細礫を混入する。含水少ない。	2.15	3	7	8	18							
2.45	0.30	0.30	中砂	黄灰	緩中			中砂分がやや優勢。細砂分を比較的多く含む。深度2.50m以深は含水多い。深度3.00～3.50m間に径10mm程度の亜角礫を稀に混入する。	2.45											
3.15	0.70	0.70	粘土質シルト	暗灰				粘土質シルトが優勢。少量の砂分を含む。	3.15	3	4	2	9							
3.45	0.30	0.30	中砂	黄褐	緩			中砂分がやや優勢。粗砂分および細砂分を比較的多く含む。含水多い。深度3.90m以深で色調が暗灰色に変わる。	3.45											
4.15	0.70	0.70	粘土質シルト	暗灰				粘土質シルトが主体。粘性中位。軟弱である。	4.15	2	1	1	4							
4.45	0.30	0.30	シルト質細砂	暗灰	極緩			シルト質細砂がやや優勢。シルトや粘土分も比較的多く含む。含水多い。	4.45											
5.15	0.70	0.70	砂質シルト	暗灰				砂質シルトが優勢。かなり微細な砂分を比較的多く含む。繊維質な腐植物を少量含む。粘性弱い。	5.15	1	1	2	4							
5.45	0.30	0.30	シルト質細砂	暗灰				シルト質細砂がやや優勢。シルトや粘土分も比較的多く含む。含水多い。	5.45											
6.15	0.70	0.70	シルト質粘土	暗灰				層上部の深度5.90m以浅は、やや砂質なシルトが分布する。深度5.90m以深は、シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を少量含む。粘性中位～強い。軟弱である。深度6.85m以深で腐植物の混入が多くなる。	6.15	1	1	1	3							
6.45	0.30	0.30	砂質シルト	暗灰				砂質シルトがやや優勢。かなり微細な砂分を多く含む。腐植物を少量含む。粘性弱い。	6.45											
7.15	0.70	0.70	シルト質細砂	暗灰				シルト質細砂がやや優勢。シルトや粘土分も比較的多く含む。含水多い。	7.15	1	2	3	6							
7.45	0.30	0.30	シルト質粘土	暗灰				層上部の深度5.90m以浅は、やや砂質なシルトが分布する。深度5.90m以深は、シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を少量含む。粘性中位～強い。軟弱である。深度6.85m以深で腐植物の混入が多くなる。	7.45											
8.15	0.70	0.70	砂質シルト	暗灰				砂質シルトがやや優勢。かなり微細な砂分を多く含む。腐植物を少量含む。粘性弱い。	8.15	2	2	2	6							
8.45	0.30	0.30	シルト混じり細砂	暗灰				細砂分が優勢。中砂やシルト分を少量含む。含水多い。	8.45											
9.15	0.70	0.70	砂質シルト	暗灰				砂質シルトが優勢。微細な砂分を比較的多く含む。腐植物を少量含む。粘性弱い。	9.15	1	1	2	4							
9.45	0.30	0.30	細砂	暗灰	緩			層上部は、ややシルト質な細砂からなる。層下部は、細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。砂質シルトの薄層も挟在する。含水多い。	9.45											
10.15	0.70	0.70	シルト質粘土	暗灰				層上部の深度8.90m付近までは、粘土質シルトが分布する。深度8.90m以深は、少量の腐植物を含むシルト質粘土が主体。粘性中位～強い。	10.15	5	7	9	21							
10.45	0.30	0.30	腐植土	暗茶				暗茶色を呈する有機質粘土が優勢。やや分解の進んだ腐植物を比較的多く含む。砂分も少量含む。粘性中位。	10.45											
11.15	0.70	0.70	腐植土	暗茶				暗茶色を呈する微細～細粒な砂	11.15	14	17	17	48							
11.45	0.30	0.30							11.45											
12.15	0.70	0.70							12.15	15	17	18	50							
12.45	0.30	0.30							12.45											
13.15	0.70	0.70							13.15	11	14	15	40							
13.45	0.30	0.30							13.45											
14.15	0.70	0.70							14.15	12	12	14	38							
14.45	0.30	0.30							14.45											
15.15	0.70	0.70							15.15	13	19	19	50							
15.43	0.28	0.28							15.43											
16.15	0.72	0.72							16.15	12	14	16	42							
16.45	0.30	0.30							16.45											
17.15	0.70	0.70							17.15	11	13	16	40							
17.45	0.30	0.30							17.45											
18.15	0.70	0.70							18.15	10	13	16	39							
18.45	0.30	0.30							18.45											
19.15	0.70	0.70							19.15	13	15	20	48							
19.45	0.30	0.30							19.45											
20.15	0.70	0.70							20.15	16	17	17	50							
20.44	0.29	0.29							20.44											
21.15	0.71	0.71							21.15	13	15	17	45							
21.45	0.30	0.30							21.45											
22.15	0.70	0.70							22.15	11	13	14	38							
22.45	0.30	0.30							22.45											
23.15	0.70	0.70							23.15	10	13	19	42							
23.45	0.30	0.30							23.45											
24.15	0.70	0.70							24.15	12	18	20	50							
24.43	0.28	0.28							24.43											

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 45.3000"			
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター			調査期間	平成 24年04月11日～ 平成 24年04月17日		東経	139° 00' 58.5000"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者					
孔口標高	5.045m	角	180° 上 0° 下	方	北 270° 西 0° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 YBM-05-DA2	ハンマー 落下用具	コーンブーリー
総掘進長	30.50m	度	0°	向				エンジン	NFAD-8	ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値 —○—	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日
										10cm毎の 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							
								砂分も少量含む。 粘性中位。												
25				腐植物混じり細砂	暗茶			暗茶色を呈する微細～細粒な砂分が優勢。 腐植物および有機質なシルトを少量含む。												4/13
26								微細～細粒な砂分が優勢。 中砂を少量含む。 微細な腐植物片も極少量含む。 含水多い。 深度10.50m付近までは、淡茶色を帯びる。 深度16.00～18.75m間は、数ミリ厚で黒灰色を呈する微細砂を不規則に挟在する。 深度22.82～22.80m間は、腐植物を比較的多く含む。 深度24.00m付近より、中砂の混入量がやや多くなる。 粗砂分も少量含む。												
27	21.66	16.80	26.70	細砂	暗灰	中～密、極密														
28																				
29																				
30	25.46	3.80	30.50	シルト質細砂	暗灰	密		微細な砂分が優勢。 シルト分を多く含む。 層上部の深度26.70mに数ミリ厚で黒灰色を呈する砂質シルトを挟在する。 深度28.73m以浅は、細粒～中粒な砂分を比較的多く含む。 含水中位。												4/14
31																				
32																				
33																				
34																				
35																				
36																				
37																				
38																				
39																				
40																				
41																				
42																				
43																				
44																				
45																				
46																				
47																				
48																				

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	No. 3	調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 46.5000"					
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター			調査期間	平成 24年04月21日～ 平成 24年04月27日		東経	139° 00' 58.4000"				
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者						
孔口標高	4.840m	角			方			使用機種	試錐機	YBM-05-DA2	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	30.41m	度			地盤勾配	鉛直 水平 0°		エンジン	NFAD-8	ポンプ	V5-P	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘進月日					
									10cm毎の打撃回数	N 値			深度 (m)	試験名および結果	深度 (m)	採取方法						
(m)	(m)	(m)	(m)						0	10	20	30	40	50	60	(m)	(m)	(m)	(m)			
4.40	0.24	0.35		アスファルト	黒			駐車場のアスファルト舗装。														
2.94	1.55	1.90		砕石	暗褐			舗装下の砕石。径50mm以下の角礫が優勢。砂分も比較的多く含む。	1.15	1	1	1	3								4/21	
1.49	1.45	3.35		細砂	黄灰	極緩		微細～細粒な砂分が主体。稀に径40mm前後の角礫を混入する。含水少ない。	2.15	1	1	2	4									
0.44	1.05	4.40		中砂	黄灰	極緩～中		中砂がやや優勢。微細～細粒な砂分を多く含む。深度2.50m以深は含水多い。	3.15	5	6	7	18									
-0.66	1.10	5.50		中砂	暗灰	極緩		中砂がやや優勢。細砂および粗砂分を比較的多く含む。含水多い。	4.15	1	1	2	4									
-2.46	1.80	7.30		砂質シルト	暗灰	極軟		砂質シルトがやや優勢。かなり微細～細粒な砂分を比較的多く含む。粘性弱い。繊維質な腐植物を少量含む。所々、シルト質細砂の薄層も挟在する。	5.15	1	1	2	3									
-3.26	0.37	8.98		シルト質粘土	暗灰	極軟～軟		シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を少量含む。粘性強い。深度6.90m以深は、腐植物を多く含む。	6.15	1	1	2	2									
-4.76	0.18	9.60		シルト質細砂	暗灰	緩		かなり微細～微細な砂分がやや優勢。シルト分を比較的多く含む。砂質シルトの薄層を挟在する部分もある。含水中位。	7.15	1	1	2	4									
-5.06	0.30	9.90		粘土質シルト	暗灰			粘土質シルトが優勢。繊維質な腐植物を少量含む。粘性中位。	8.15	3	2	2	7									
				シルト質細砂	暗灰			かなり微細～微細な砂分がやや優勢。シルト分を比較的多く含む。含水多い。	9.15	1	1	1	3									
				砂質シルト	暗灰			砂質シルトがやや優勢。かなり微細～細粒な砂分を比較的多く含む。粘性弱い。	10.15	4	7	9	20									
				細砂	暗灰			微細～細粒な砂分が優勢。中砂分を少量含む。含水多い。	11.15	15	15	18	48									
				砂質シルト	暗灰	中		砂質シルトがやや優勢。かなり微細～細粒な砂分を比較的多く含む。粘性弱い。	12.15	13	15	16	44									
				シルト質粘土	暗灰	軟		シルト質粘土が優勢。繊維質な腐植物を少量含む。粘性強い。	13.15	11	12	13	36									
				腐植土	暗茶			シルト質粘土様を呈する有機質土が優勢。やや分解の進んだ腐植物を比較的多く含む。粘性強い。	14.15	10	11	14	35									
				腐植物混じり細砂	暗茶			微細～細粒な砂分が優勢。暗茶色を呈するシルト分も比較的多く含む。中砂分も少量含む。やや分解の進んだ腐植物を少量含む。含水多い。	15.15	18	21	11	50									
				細砂	暗灰	中～密～極密		微細～細粒な砂分が優勢。中砂分を少量含む。深度10.50m以浅は、腐植物も少量含む。含水多い。深度14.00～15.00m間、深度19.55～19.70m間は、やや中砂分の混入が多い。深度22.50～23.00m間は、中砂や粗砂分を比較的多く含む。深度22.70～23.80m間は、10mm前後の厚さで腐植物や粗砂の薄層	16.15	17	22	11	50									
									17.15	12	14	20	46				16.70	孔内水平荷試験				
									18.15	17	18	15	50				17.30	Em=16.04GMN/m2				
									19.15	17	20	13	50									
									20.15	17	21	12	50									
									21.15	12	18	20	50									
									22.15	9	13	16	38									
									23.15	6	9	9	24									
									24.15	16	20	14	50									
									24.42													



# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No. 4		調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 47.5000"			
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター			調査期間	平成 24年04月02日～ 平成 24年04月09日		東経	139° 01' 03.0000"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者					
孔口標高	3.63m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 YBM-05-DA2 エンジン NFAD-8	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	30.39m	度	0°	向						ポンプ	V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘進月日		
									深度 (m)	10cm毎の打撃回数 (0 10 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	換算N値	深度 (m)	試験名	深度 (m)	採取方法			
3.63	0.15	3.48		礫混じり砂質粘土	暗褐			表土部分であり、有機質な粘土が優勢。草根を多く含む。砂分も比較的多く含む。径50mm前後の角礫を少量含む。	1.15	5	6	8	19			1.15	P4-1	密度、含水、粒度	4/2	
2.93	0.40	0.70		砂混じり粘土	黄褐			ロームを呈するシルト質粘土が優勢。砂分や未分解の植物根を少量含む。粘性中位。	1.45							1.45	P4-2	密度、含水、粒度		
0.78	2.15	2.85		細砂	茶褐			細砂分が優勢。中砂分を少量含む。径3mm前後の細礫や未分解の植物根も少量含む。含水少ない。	2.45							2.45	T4-1	一般物理、軸圧密	4/2	
-0.17	0.95	3.80		中砂	茶褐	中		中砂分がやや優勢。細砂分を比較的多く含む。径3mm前後の細礫を極少量含む。粘土塊を不規則に混入する。深度1.50m以深で粗砂分も混入する。深度1.60m以深で含水多くなる。	3.15	1	1		2			3.15				
				粘土質シルト	暗灰	極軟		粘土質シルトが主体。均一質である。粘性中位～強い。軟弱である。	3.45							3.45				
				細砂	暗灰	緩中		細砂分がやや優勢。中砂分を多く含む。層上部の深度3.80～4.00m間は、シルト分も多く含む。含水多い。	4.15	2	3	3	8			4.15				
				中砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。細砂分を比較的多く含む。粗砂分も少量含む。深度8.00～8.90m間は、粗砂分の混入が多くなる。含水多い。	4.45							4.45				
				腐植物混じり細砂	暗褐～暗灰	中		細砂分が優勢。層上部の深度8.90～8.95m間は、腐植物を多く含む砂質シルト様の有機質土からなる。深度8.95m以深は、やや分解の進んだ腐植物を少量含むの微細～細粒な細砂からなる。含水中位。	5.15	4	5	5	14		5.20	孔内水平載荷試験 Em=4.139MN/m2	5.15	P4-3	密度、含水、粒度	
-3.37	3.20	7.00		細砂	暗灰	緩中		中砂分が優勢。細砂分を比較的多く含む。粗砂分も少量含む。深度8.00～8.90m間は、粗砂分の混入が多くなる。含水多い。	5.45						5.80	現場透水試験 K=1.29E-02cm/sec	5.45			
-5.27	1.90	8.90		中砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。細砂分を比較的多く含む。粗砂分も少量含む。深度8.00～8.90m間は、粗砂分の混入が多くなる。含水多い。	6.15	3	4	4	11			6.15				
-5.97	0.70	9.60		腐植物混じり細砂	暗褐～暗灰	中		細砂分が優勢。層上部の深度8.90～8.95m間は、腐植物を多く含む砂質シルト様の有機質土からなる。深度8.95m以深は、やや分解の進んだ腐植物を少量含むの微細～細粒な細砂からなる。含水中位。	6.45							6.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	7.15	7	8	9	24			7.00				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	7.45							7.50				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	8.15	11	13	14	38			8.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	8.45							8.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	8.85	6	9	9	24			8.85				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	9.15							9.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	9.45							9.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	10.15	16	18	16	50			10.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	10.43							10.43				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	11.15	18	19	13	50			11.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	11.41							11.41				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	12.15	12	19	16	47			12.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	12.45							12.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	13.15	9	14	16	39			13.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	13.45							13.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	14.15	17	23	10	50			14.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	14.39							14.39				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	15.15	18	24	8	50			15.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	15.37							15.37				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	16.15	12	16	19	47			16.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	16.45							16.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	17.15	14	17	19	50			17.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	17.44							17.44				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	18.15	24	26	8	50			18.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	18.33							18.33				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	19.15	17	28	5	50			19.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	19.37							19.37				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	20.15	20	30		50			20.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	20.35							20.35				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	21.15	6	10	11	27			21.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	21.45							21.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	22.15	10	10	11	31			22.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	22.45							22.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	23.15	14	16	18	48			23.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	23.45							23.45				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	24.15	10	14	23	47			24.15				
				細砂	暗灰	中～密		中砂分が優勢。微細～細粒な砂分が優勢。中砂分も少量含む。含水多い。	24.45							24.45				

# ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	No. 4	調査位置	新潟県新潟市西区山田 地内			北緯	37° 52' 47.5000"
発注機関	新潟市西区 新潟市下水道部 下水道管理センター		調査期間	平成 24年04月02日～ 平成 24年04月09日		東経	139° 01' 03.0000"
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	3.63m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°
総掘進長	30.39m	度		使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具	コーンプーリー
				エンジン	YBM-05-DA2		V5-P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘進月日						
									深度 (m)	10cm毎の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	試験名および結果	深度 (m)	採取方法								
25.80	16.20	25.80		シルト質細砂	淡灰	密極密		細砂が優勢。 深度27.00m以浅は、中砂分を少量含む。 深度27.00m以深は、微細な砂分が卓越する。 含水比較的小さい。	24.45														
25.15	5	9							14	28													
26.15	13	17							19	49													
26.45																							
27.15	13	15							18	46													
27.45																							
28.15	13	16							18	47													
28.45																							
29.15	16	17							17	50													
29.43																							
30.15	19	19	12	50																			
30.39			4	24																			